

環日本海地域の物流拠点

秋田港

日本海側拠点港

[国際海上コンテナ]



秋田県環日本海交流推進協議会

秋田港 国際コンテナ 定期航路

秋田港は、東日本における日本海側のゲートウェイであり、日本海側諸港と共に北東アジア及びロシアと日本との窓口として極めて重要な位置を占めています。

1995年（平成7年）11月に韓国・釜山港の国際コンテナ航路が開設されて以来、着実に取扱貨物量を増やし、利便性の高い航路ネットワークの構築に向け、韓国・釜山航路の維持拡充、中国への延伸などに官民挙げて取り組んできました。

アジア地区最大級のハブ港・韓国釜山港を経由して、大連・天津・青島・上海などの中国主要港をはじめ、東南アジア、ロシア極東地域、欧州、アメリカ、アフリカ等世界各地と結ばれています。

2011年11月、日本海側拠点港に選定されたことを契機として、港湾機能の充実やさらなる利便性の向上を目指してまいります。

秋田港と
各港間の概算距離

釜山	1,106 Km
大連	2,161 Km
天津新港	2,504 Km
青島	2,030 Km
上海	2,002 Km
ウラジオストク	783 Km
ポスターチナイ	715 Km
ロッテルダム	21,194 Km
ハンブルク	21,676 Km
シアトル	7,534 Km
ロサンゼルス	8,708 Km





秋田港と 県外主要都市間の概算距離

青 森	178 Km
弘 前	141 Km
盛 岡	125 Km
宮 古	219 Km
北 上	143 Km
釜 石	230 Km
一 関	186 Km
大衡（一般道）	215 Km
仙台（一般道）	241 Km
石 巻	239 Km
酒 田	111 Km

※所要日数はあくまでめやすです。



秋田港と県内主要都市間の 概算距離

大 館	93 Km
能 代	57 Km
横 手	82 Km
湯 沢	101 Km
由利本荘	48 Km
にかほ	60 Km



秋田港国際コンテナターミナルの概要



秋田港国際コンテナターミナル施設概要

ターミナル面積	● 11.3ha		
岸壁（延長／水深）	● 1号岸壁：延長270m/水深-13m		
	● 2号岸壁：延長260m/水深-13m		
コンテナ蔵置能力	● コンテナヤード（トランスファークレーン方式）	○ドライコンテナ	696TEU×3段積=2088TEU
		○リーファーコンテナ	48TEU×2段積= 96TEU
	● バンプール（トップリフター・リーチスタッカー方式）	○空コンテナ	980TEU×3段積=2940TEU
冷凍電源設備	● 440V / 30A : 48口		
夜間照明設備	● 7基（1本柱 高さ24m 12灯／基）		
管理棟／ゲート	● 管理棟：RC造2階建、延面積377.37 m ² /ゲート：3レーン（放射能検知装置、トラックスケール）		
荷役機械	● ガントリークレーン：2基		
		1 号	2 号
	○形 式	ロープトロリ式橋形クレーン	ロープトロリ式橋形クレーン
	○定格荷重	35.6t	35.6t
	○吊上荷重	47.8t	50.6t
	○巻上速度	30m/min	65m/min
	○横行速度	80m/min	190m/min
	○走行速度	40m/min	45m/min
	● トランスファークレーン：2基		
	仕 様		
	○形式：タイヤ走行式橋形クレーン		
	○定格荷重40.6t		
	○横行速度70m/min ○走行速度135m/min ○巻上速度 負荷／無負荷 23m/min ～ 52m/min		
関連施設	● トップリフター：1台、リーチスタッカー：3台、トレーラー：4台		
	● くん蒸施設：183.2㎡（農林水産省食物防疫所指定くん蒸庫「特A」）、40ftコンテナ・オンシャーシ1台		
	● 多目的上屋：鉄骨造520㎡（エプロン含む）※うち税関X線検査スペース80㎡		

機能向上を図った国際コンテナターミナル

平成24年4月のリニューアルオープン時には、ガントリークレーン1基とトランスファークレーン2基を新たに導入するとともに、管理棟、多目的上屋、くん蒸施設などを整備しました。

さらに、増大する貨物量に対応するため、ふ頭用地を拡張するなど機能向上を進めています。また、より効率的な荷役を行うとともに、危機管理体制を充実させるため、新たに、トランスファークレーンを1基増設し3基体制に、1号ガントリークレーンを更新し、2基体制にする計画を進めています。

2期計画概要

★ふ頭用地を5.7ha拡張し17haに（取扱能力100,000TEU/年）

ヤード舗装、照明・保安設備、車庫・備品庫1棟、多目的蔵置エリアの整備

★トランスファークレーン1基増設（3基体制）

（平成26年度8月供用予定）

荷役の効率化と危機管理体制の強化

★1号ガントリークレーン更新（2号岸壁2基体制）

（平成27年度供用予定）

秋田港外港地区の各施設



くん蒸施設

1号ガントリークレーン

外港 1号岸壁
(-13m)270m

空コンテナ

11.3ha

1期計画
(平成24年4月供用)

バルクヤード
3ha

外港 2号岸壁
(-13m)260m

空コンテナ

5.7ha

2期計画
(平成24~26年度予定)



2号ガントリークレーン



トランスファークレーン

管理棟



ターミナルゲート



多目的上屋



東アジア等との経済交流の強化

★環日本海物流ネットワークの構築

秋田県では、2010年3月、世界経済の中心となりつつある東アジア地域の経済成長を秋田の発展に取り込んでいくため、環日本海交流を核とし、その先の東アジア全域、そしてヨーロッパまでを見通した本格的な経済交流の拡大を視野に入れた「秋田県東アジア交流推進構想」を策定しました。

この構想に基づき、2010年から2020年までの間、環日本海

地域を核に、経済、友好、学術、技術等の各分野での交流を一層活発化させ、対岸地域における交流拠点の形成を目指します。

そして、東アジア地域の成長エネルギーを県の発展に取り込んでいくため、官民による経済交流を促進し、秋田港機能強化による環日本海物流ネットワークの構築により、皆様のビジネスの拡大を支援してまいります。

★海外進出への支援窓口

(一社) 秋田県貿易促進協会

一般社団法人秋田県貿易促進協会

〒010-0923

秋田市旭北錦町1-47

秋田県商工会館5階

TEL 018-896-7366

FAX 018-896-7367

URL <http://www.a-trade.or.jp>

Email info@a-trade.or.jp

(公財) あきた企業活性化センター

公益財団法人あきた企業活性化センター

総務相談グループ総合相談担当

〒010-8572

秋田市山王3-1-1

TEL 018-860-5610 (代表)

FAX 018-863-2390

URL <http://www.bic-akita.or.jp>

Email s-chiba@bic-akita.or.jp

ジェトロ秋田貿易情報センター

独立行政法人日本貿易振興機構

秋田貿易情報センター

〒010-0951

秋田市山王2-1-40 田口ビル1F

TEL 018-865-8062

FAX 018-888-1771

URL <http://www.jetro.go.jp/akita>

Email aki@jetro.go.jp

★海外現地支援拠点

韓国 北東北三県・北海道ソウル事務所

【お問い合わせ】

秋田県商業貿易課 TEL018-860-2218

環境負荷低減を視野に入れた輸送システム

★秋田港シーアンドレール構想

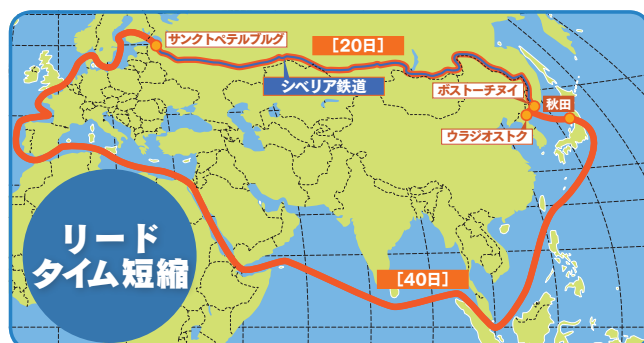
秋田港は、ロシア極東地域の港に本州日本海側で一番近く、また、貨物鉄道がコンテナヤードのすぐ近くまで延びているという特徴を持っており、国土交通省東北地方整備局により2008年2月に行われた秋田港シーアンドレール構想実証実験の結果、ヨーロッパ、ロシアなどに向けたスピーディーで環境に優しい物流ルートとしての有効性が示されました。

秋田港シーアンドレール構想では、ロシア沿海地方の港との間の直行航路である秋田沿海州航路とシベリア鉄道を活用することで、我が国と中央シベリアやNIS諸国、欧州をつなぐ第2、第3のルートを構築することを目指しており、CO₂排出が少なく、かつ、リードタイムの短縮が可能なルートとして注目されています。2008年6月に民間主導で設立された「秋田港シーアンドレール構想推進協議会」を中心に、構想実現に向けた取り組みを進めており、2012年8月には秋田沿海州航路(釜山経由)が開設され、構想実現への一歩を踏み出しました。

シベリア鉄道は、ユーラシア大陸を横断し、極東ロシアとモ

スクワや北欧地域までのおよそ9,300kmを、10～14日間で結んでいます。ロシアでは、所要日数を7日間に短縮する高速化について発表しており、実現後は、ヨーロッパへのリードタイムが大幅に短縮されます。

秋田沿海州航路の実現により、秋田港がロシア・中国東北部の玄関口となることを目指します。



荷主への支援制度

★荷主定着化促進事業（荷主支援）奨励金

申込期限◎11月末日（必着）

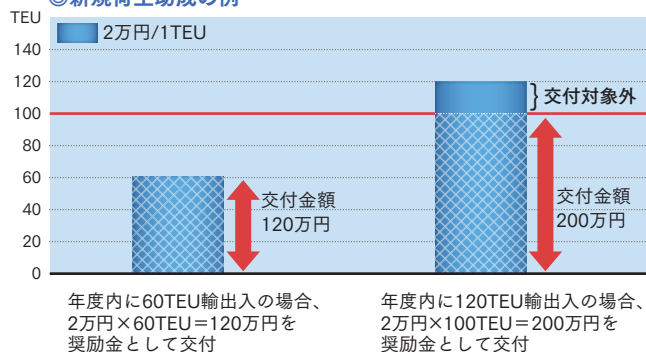
外貿定期コンテナ航路の維持・定着、貨物集約を図るとともに、秋田港の対外的な競争力を高めることを目的に、荷主企業を支援するための制度です。

新規荷主対象

◎助成の条件・助成金額など

奨励金の対象となる者	平成24年4月12日供用開始の秋田港国際コンテナターミナルを平成25年11月30日以前に利用したことのない荷主（新規荷主）
奨励金交付の要件	年度内に10TEUを超えて輸出入を行うこと ^{（※）}
奨励金の対象コンテナ	要件を満たした場合、1TEU分より補助
1TEUあたり交付金額	2万円
年間交付限度額	200万円（100TEU相当分まで）
利用航路・貨物仕向地の制限	共に制限無し

◎新規荷主助成の例

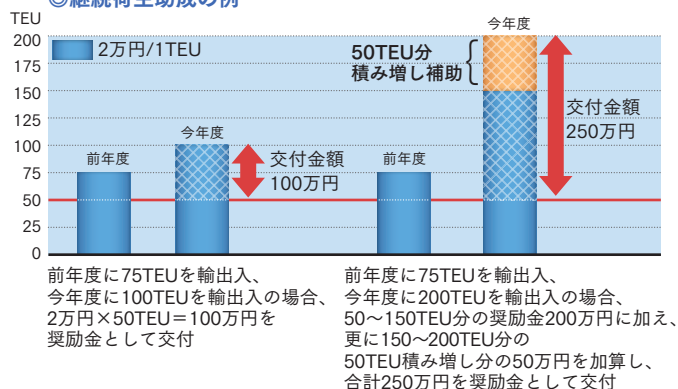


継続荷主対象

◎助成の条件・助成金額など

奨励金の対象となる者	平成24年4月12日供用開始の秋田港国際コンテナターミナルを平成25年11月30日以前に既に利用している荷主（継続荷主）
奨励金交付の要件	年度内に50TEUを超え、かつ前年度より10%以上コンテナ貨物を増加させて輸出入を行うこと ^{（※）}
奨励金の対象コンテナ	要件を満たした場合、50TEU分を超えた分より補助
1TEUあたり交付金額	2万円
年間交付限度額	200万円（ただし年間輸出入コンテナ150TEUを超えてさらに50TEUを積み増した場合には、その都度50万円を2回に限り追加補助を行う。この場合の限度額は300万円（年間輸出入コンテナ250TEU相当））
利用航路・貨物仕向地の制限	共に制限無し

◎継続荷主助成の例



※ 40フィートコンテナ1本（1FEU）は20フィートコンテナ2本（2TEU）に換算する

★コンテナ輸送トライアル事業奨励金

予算が無くなり次第受付終了

秋田港と上海港等との間で輸出入を行う荷主企業に対し、経費の一部を奨励金として交付する制度です。

奨励金の対象となる荷主	秋田港で初めてコンテナの積み込み又は荷揚げを行い上海港との間で輸出入を、又はASEAN諸国と輸出入を行う荷主
対象となるコンテナ貨物	奨励金交付決定日の属する年度内に、秋田港で船に積み込み又は荷揚げされ、発着地との間を運送されるコンテナ（途中港でトランシップされるものを含む）
奨励金の交付回数	コンテナの輸出入1回のみ、コンテナ1本まで（20フィートコンテナ、40フィートコンテナの別を問いません）
奨励金の交付割合	交付対象経費の1/2
限度額	20フィートコンテナ1本あたり10万円 （40フィートコンテナ利用の場合は20万円）
利用航路の条件	秋田港発着の国際コンテナ航路

奨励金の交付対象経費	下記に定める国内陸上輸送費 (1) 秋田港までの国内陸上輸送運賃（コンテナターミナルと保管倉庫間の輸送運賃を含む） (2) 輸出入通関料 (3) コンテナヤードでのコンテナ取扱作業費用（THC） (4) 船荷証券作成費用 (5) バンニング・デバンニング費用 (6) 梱包作業費用
交付対象から除外される経費	海上運賃、輸出入の場合に要する認証取得費用、国内検査料、必要書類の翻訳料など、上記に含まれない費用

★秋田沿海州航路開設促進支援（荷主企業支援）事業奨励金

申込期限◎11月末日（必着）

「秋田沿海州航路」の利用促進を目的に、荷主の方に対して利用されたコンテナ数量に応じ、奨励金を交付する制度です。

対象 秋田沿海州航路利用の荷主
交付額 1TEUあたり10,000円

小口混載貨物（LCL）サービス

「コンテナ1つになるほどの貨物ではないのだけど…」という荷主の皆様のために、秋田港では、秋田－釜山間、さらには釜山港での積み替えにより世界各港向け小口混載貨物（LCL）サービスを実施しています。

小口用のコンテナ貨物料金で、リーズナブルに各地へ輸出することができます。秋田港では、アジア、ヨーロッパ、アメリカ、アフリカなどを仕向地とした全世界向け輸送サービスが可能です。ぜひ、ご利用ください。

【お問い合わせ：秋田港代理店】

日本通運株式会社秋田港支店
（セイノーロジックス株式会社代理店）
（興亜海運株式会社秋田港代理店）

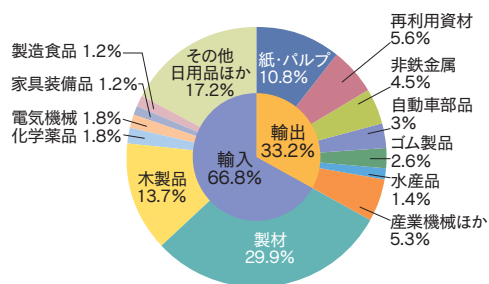
TEL 018-845-2291

秋田海陸運送株式会社
（高麗海運株式会社秋田港代理店）※釜山向けのみ

TEL 018-845-0185

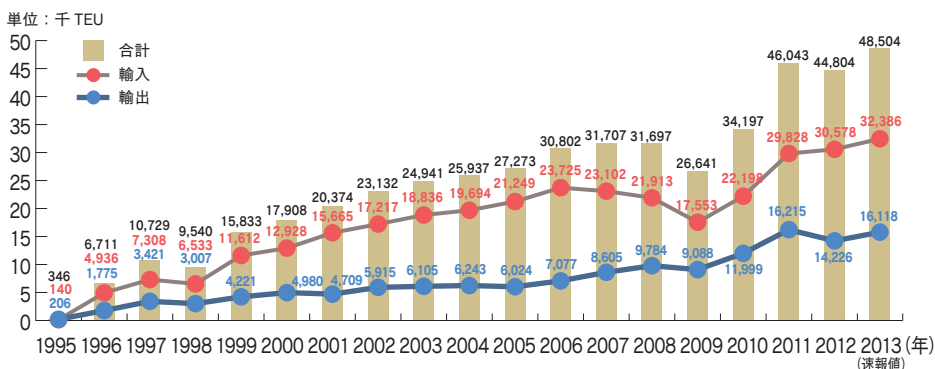
秋田港の貿易状況

◆2013年コンテナ輸出入 品種別データ（コンテナ数量）



◆秋田港コンテナ取扱量（実入り）の推移

（出典：秋田県港湾統計）



お問い合わせ

国際コンテナ定期航路（秋田港代理店）

日本通運株式会社 秋田港支店（興亜海運、長錦商船）

TEL 018-845-2291 FAX 018-845-1844

〒011-0944 秋田市土崎港穀保町130-1

URL : <http://www.nittsu.co.jp/>

秋田海陸運送株式会社（高麗海運、南星海運）

TEL 018-845-0185 FAX 018-845-4229

〒011-8585 秋田市土崎港西二丁目5-9

URL : <http://www.kairiku.co.jp/>

国際航空貨物

株式会社大韓航空 秋田支店

TEL 018-867-8800 FAX 018-867-8823

〒010-0951 秋田市山王2-1-53 山王21ビル5F

発行者

秋田県環日本海交流推進協議会

（秋田県産業労働部商業貿易課内）

TEL 018-860-2218 FAX 018-860-3887

〒010-8572 秋田市山王3-1-1

URL : <http://www.akitakks.jp/>

Customs（税関）／Immigration（入管）／Quarantine（検疫）関連機関

函館税関 秋田船川税関支署

TEL 018-845-0735

〒011-0945 秋田市土崎港西1-7-35

仙台入国管理局 秋田出張所

TEL 018-895-5221

〒010-0951 秋田市山王7-1-3

横浜植物防疫所新潟支所 秋田出張所

TEL 018-845-1411

〒011-0945 秋田市土崎港西1-7-35

農林水産省動物検疫所 仙台空港出張所

TEL 022-383-2302

〒989-2401 宮城県名取市下増田字南原 仙台航空ターミナルビル

関係機関

秋田県産業労働部商業貿易課

TEL 018-860-2218

〒010-8572 秋田市山王3-1-1（県庁第2庁舎3階）

秋田県建設部港湾空港課

TEL 018-860-2543 〒010-8570 秋田市山王4-1-1